# 3 施設の安全

消費者の安全を損ねる恐れのあるものとして、食品や製品などのほか、施設があります。

施設については、近年、エレベーターやエスカレーター、プール、公園遊具、遊園地、温泉施設等で、様々な事故が多く発生しています。中には死亡にまで至る重大なものもあります。

それらの事故の中には、利用者が気をつけていても防ぎようがないものもありますが、一方で、その施設の危険性を利用者が正しく認識していたり、施設に掲示してある利用上の注意などの表示をよく読んでおけば防げる被害もあります。

施設の管理者は、定期的に安全点検を行い、「まさか」と思われるような事故を未然に防ぐよう努めることが求められています。

施設での事故は、一旦発生すると、大きな被害に結びつくケースが比較的多いと言えます。施設の管理者が注意すべきなのはもちろん、私たちも「いつものことだから大丈夫」と過信しないよう心がけることが大切です。

# 4 事故が起きた時の対処方法

製品などによる事故や危害を防ぐにためには、まず、購入・使用などの際に、その製品などの安全性について十分確認をしましょう。取扱説明書や保証書は必ず読み、保管をしておくことが大切です。

もし、事故や危害にあってしまったら、

①事故品は現状のまま保存する。

②発生状況や使用状況などは、整理して記録に残す。

③警察や消防署へ忘れず連絡すると共に、医師の診断を受けた時は診断書などを受け取る。

ことが大切です。

また、製品による事故に際し、生命・身体又は財産に損害を被った場合には「製造物責任法」という法律によって、損害賠償の請求をすることができます。

事故の紛争解決は、製造者や販売者と話し合うことから始まります。万一、解決ができない場合は、消費生活センター※1やPLセンター※2に相談すると良いでしょう。

※1 消費生活センター：33ページ参照

※2 PLセンター：製品の事故が発生した場合に、迅速な解決を図る民間機関。製品の分野ごとに設立されています。

# おさらいクイズ

うーんと

正しい選択肢を選んでください。

安全な食品を
購入する時、
注意することは

①表示をよく見る

②色や見た目のみで
判断する

（ヒントは6ページ）

安全な製品を
購入する時、
注意することは

①国民生活センター等が
実施する商品テストや
事故情報を参考にする

②できるだけ安い商品を選ぶ

（ヒントは7ページ）

エスカレーターを
利用する時、
大切なことは

①急いでいる時に、
片側をすり抜ける

②降りる時、足元に注意する

（ヒントは8ページ）

製品の使用時に
事故が起こった時、
対処方法として
正しいのは

①すぐに事故品を廃棄する

②医師の診断を受けた場合は、
診断書をもらう

（ヒントは9ページ）